

長期留学への応募条件の変更について

1. TESS（留学費用全額支援制度）など長期留学の応募条件が変わります

名古屋外国語大学では現在、TESS（留学費用全額支援制度）をはじめとする長期留学の応募条件として、TOEFL ITP のスコアを使用しています。これを 3 年間の周知・移行期間を経た後、2030 年度募集から全面的に IELTS に切り替えます。IELTS への切替スケジュールは下に示した図の通りです。まず、①周知期間（2027 年度 1 期募集まで）は、現行の選考基準が適用されます。2027 年度 2 期募集から 2029 年度募集の 2 年半は②移行期間（併用期間）として、IELTS、TOEFL ITP いずれでも応募可能とします。4 年後の 2030 年度募集以降は③IELTS に全面切替となり、TOEFL ITP では応募できなくなります。なお、フランス語と中国語の語学要件は現行の基準のままです。また、移行期間からは仏中国語学科も含め、GPA 基準も変更となります。

2026年度	2027年度		2028年度		2029年度		2030年度	
2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集
①周知期間 現行基準		②移行期間 IELTS, TOEFL ITP いずれも有効					③IELTSに全面切替	

2. TESS II（スタンダード）留学の例

最も参加者の多い TESS II（スタンダード）留学を例にとって具体的な選考基準の変更について説明します。

- ① 2027 年度 1 期募集までは現行基準の TOEFL ITP510 以上（2 枚平均）、GPA2.0 以上が適用されます。
- ② 2027 年度 2 期募集から 2029 年度募集までは、IELTS5.5 以上か TOEFL ITP520 以上（1 枚）のいずれか、及び GPA2.2 以上が選考基準になります。
- ③ 2030 年度募集以降は IELTS5.5 以上、GPA2.4 以上が選考基準となります。2030 年度募集からは TOEFL ITP は長期留学の応募に使えなくなります。

	2026年度	2027年度		2028年度		2029年度		2030年度	
	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集
TOEFL ITP	510以上	510以上	520以上	520以上	520以上	520以上	520以上	-	-
IELTS	-	-	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上
GPA	2.0以上	2.0以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.4以上	2.4以上
	周知期間（現行基準）		移行期間					IELTSに切替	

3. 長期留学の選考基準の移行について

留学制度ごとの選考基準、移行スケジュールの詳細を以下に示します。

*②移行期間以降の基準については、状況に応じて変更となる場合があります

① 周知期間（～2027年度1期募集）（現行基準を適用）

留学種別		語学基準		成績基準
		IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESSⅠ（学位取得）留学			550以上	2.4以上
TESSⅡ（スタンダード）留学			510以上（2枚平均）	2.0以上
TESSⅢ（2か国）留学	英語×英語		550以上	2.4以上
	英語専攻×複言語		510以上	2.4以上
	仏中専攻×英語		470以上	2.4以上
TESSⅣ（航空サービス）留学			510以上（2枚平均）	2.0以上
UCR特別留学			510以上（2枚平均）	2.0以上
認定留学			450以上	2.0以上



② 移行期間（併用期間）（2027年度2期募集～2029年度2期募集）

留学種別		語学基準（いずれか）		成績基準
		IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESS I（学位取得）留学		6.0以上	550以上	2.4以上
TESS II（スタンダード）留学		5.5以上	520以上	2.2以上
TESS III（2か国）留学	英語×英語	6.0以上	550以上	2.4以上
	英語専攻×複言語	5.5以上	520以上	2.4以上
	仏中専攻×英語	5.0以上	480以上	2.4以上
TESS IV（航空サービス）留学		5.5以上	520以上	2.2以上
UCR特別留学		5.5以上	520以上	2.2以上
認定留学		4.5以上	450以上	2.0以上



③ IELTS完全切替後（2030年度1期募集以降）

留学種別		語学基準		成績基準
		IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESS I（学位取得）留学		6.0以上		2.4以上
TESS II（スタンダード）留学		5.5以上		2.4以上
TESS III（2か国）留学	英語×英語	6.0以上		2.4以上
	英語専攻×複言語	5.5以上		2.4以上
	仏中専攻×英語	5.0以上		2.4以上
TESS IV（航空サービス）留学		5.5以上		2.4以上
UCR特別留学		5.5以上		2.4以上
認定留学		4.5以上		2.0以上

4. 今回の長期留学選考基準変更に至った背景

留学生の受入基準として海外の大学が設定している語学基準について、かつては TOEFL ITP が広く採用されていました。本学の学生は TOEFL ITP のスコアを使って、学内の長期留学制度と海外の大学の交換留学の語学基準双方を満たして出願することができました。しかしながら、現在ではほとんどの大学において、IELTS に代表される 4 技能評価型の語学スコアが語学基準として要求されている一方、本学の長期留学制度の学内応募のための語学基準は TOEFL ITP を継続して使用しているという状況があります。

そのため、現在本学の長期留学の選考基準下では、留学を志す学生はまず学内の留学制度に採用されるために TOEFL ITP のスコア取得を目指して準備を重ね、本学の長期留学候補生として内定した後、数か月の比較的短い準備期間の間に、試験形態が著しく異なる IELTS のスコア取得を改めて要求されることになります。これは学生にとって大きな負担であり、IELTS に対する準備期間の不足から本来希望していた留学先の要件を満たすことができず、留学先を急遽変更したり、履修内容の変更を余儀なくされる学生が毎学期一定数生じています。

学内応募の基準を IELTS に切り替えることは、本学の留学制度への準備がそのまま留学先大学の語学基準到達を目指した準備にもなることを意味します。これは、学生によっては従来 IELTS に対する準備期間が数か月だったところを年単位に引き上げるものであり、また受験機会が学内に限られていた TOEFL ITP とは異なり、大学入学前を含めた継続した準備も可能にするものです。これにより、学生はより余裕をもって、また実際にどの大学へ留学するのか（最終的に目指すべきスコアは何点なのか）を意識しつつ計画的に留学の準備を進めることが可能となります。

また、コロナ禍以降、欧米の持続的なインフレにより、海外大学の授業料や宿舍費等が高騰しており、それに伴い留学費用も大幅に増加しているという状況にあって、全国的に海外留学の機会が細りつつある中、本学では TESS（留学費用全額支援制度）を維持し、安定して運用していくことで、留学に対する意思と能力を備えた学生が、経済的な事情の有無に関わらず留学に挑戦できる環境を引き続き提供していきます。従来と同等数の学生を、学生自身が希望している留学先へ派遣することが本学の目指すところであり、それを持続的に実現するためには、留学先大学での授業料が免除になる交換留学での派遣を増やすことが不可欠です。今回の選考基準の変更はそれにつながるものでもあります。

以上が今回の選考基準変更に至った背景です。

なお、GPA 基準の引き上げについては、交換留学生として協定校に学生を派遣する以上、本学のいわば代表として、「優れた水準で学業目的を達成している」とみなされる GPA 基準を設定する必要があるとの考えによるものです。

5. 選考基準変更に伴う取り扱い（予定）

- ① スコアの有効期間について：長期留学制度へ応募する年度学期ごとに定められた日付けからさかのぼって過去2年以内に受験したIELTSのスコアを有効とします。1期募集は6月末日、2期募集は11月末日時点を基準とする予定です。周知期間、移行期間にTOEFL ITPで応募する場合、年度学期ごとに有効なスコアの受験期間を定めます（現行と同等の期間を設定します）。
- ② IELTSを選考基準とすることに伴い、長期留学応募のために受験するIELTSの受験料を在学中1回に限り補助します。この受験料補助に関する詳細は後日改めてお知らせします。
- ③ 移行期間以降のGPA基準の引き上げについては、フランス語学科、中国語学科も含め、全学科に適用します。
- ④ TOEFL ITPの学内試験実施は2029年10月を最終とします。
- ⑤ その他、具体的な手続き等は2027年度募集用の留学ハンドブック（2027年4月発行）にて公開します。

6. その他

- ① IELTSの受験にあたっては、全国（日本国外も含め）の公式受験会場を利用してください。名古屋駅前であれば毎週末、東京・大阪ではほぼ毎日開催されています。※学内試験は実施しません
- ② IELTSの種別は「IELTS Academic」もしくは「IELTS for UKVI」を有効とします。「IELTS General Training」および「IELTS Life Skills」は対象外ですのでご注意ください。
- ③ IELTS5.5取得の難易度の参考として、現行基準での長期留学候補生のIELTSスコア取得状況は「TESS 候補生のうち、希望する留学先がIELTS5.5またはそれ以上のスコアを要求している学生数」を分母、「そのなかでIELTS5.5以上を取得した学生数」を分子とすると、95%以上がIELTS5.5またはそれ以上のスコアを取得しています。

以上